

令和3年度 第2回 川西市地域公共交通会議

次第

日時 令和4年1月27日(木)
13時00分～15時00分(予定)
場所 アステ市民プラザ アステホール1

1. 開会

2. 報告

(1) 交通事業者における今後の取組予定について [資料1]

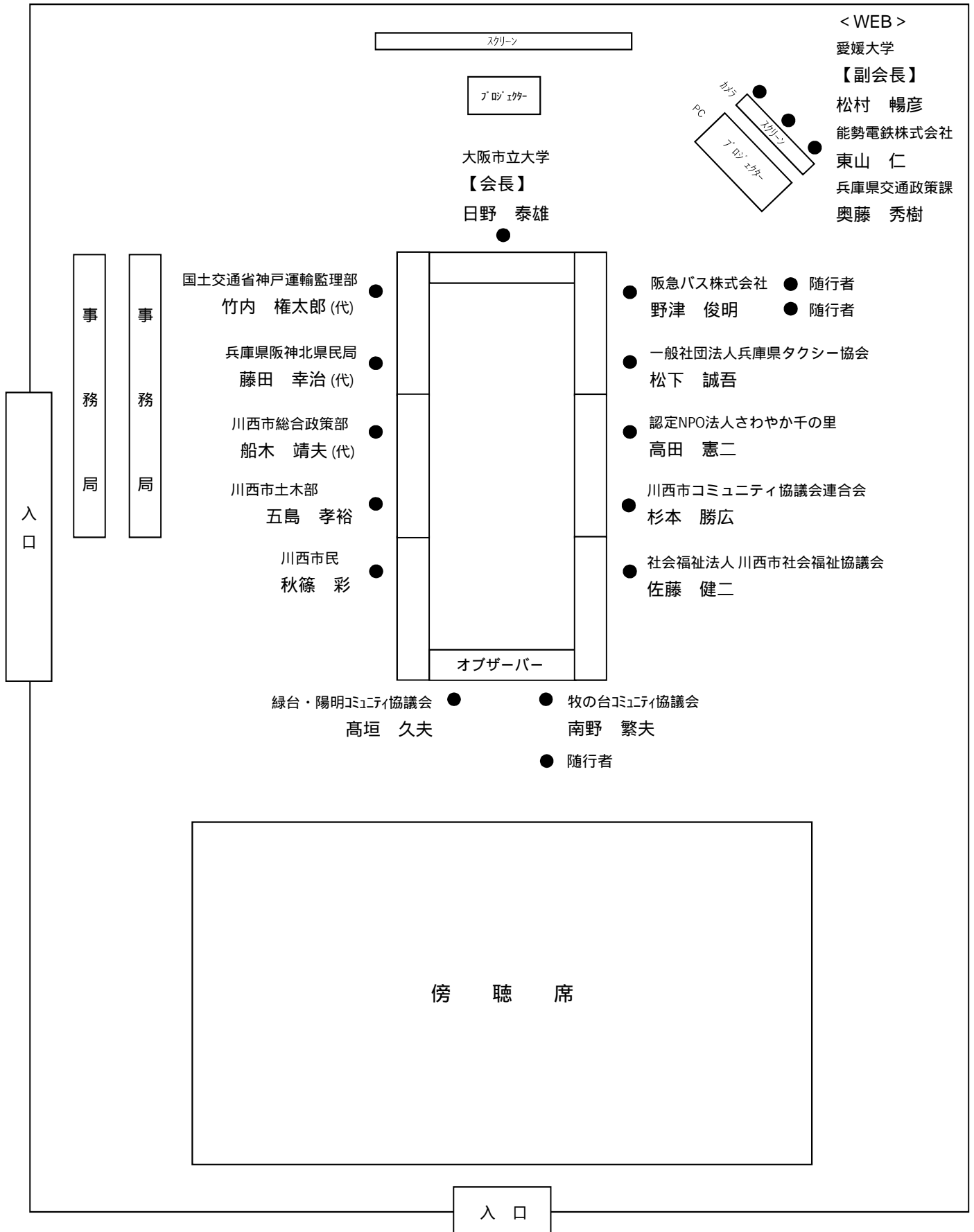
3. 協議

(1) (仮称)川西市公共交通計画に係るニーズ調査について [資料2]

(2) 補助路線の現状と補助路線の持続可能なバス運行の検討について [資料3]

4. 閉会

令和3年度 第2回 川西市地域公共交通会議 配席図



令和3年度 第2回 川西市地域公共交通会議 出席者名簿

委員

構成団体	所属	役職	構成員	出席者
大阪市立大学		名誉教授	[会長] 日野 泰雄	同左
愛媛大学	社会共創学部 環境デザイン学科	教授	[副会長] 松村 暢彦	同左(WEB)
西日本旅客鉄道株式会社	近畿統括本部 大阪支社 総務企画課	課長代理	阿部 保博	欠席
阪急電鉄株式会社	都市交通事業本部 交通プロジェクト推進部	部長	奥野 雅弘	欠席
能勢電鉄株式会社	鉄道事業部	副部長 兼 運転課長	東山 仁	同左(WEB)
阪急バス株式会社	営業企画部(地域公共交通担当) 兼 経営企画部(次世代モビリティ担当)	部長	野津 俊明	同左
公益社団法人 兵庫県バス協会		専務理事	水田 節男	欠席
一般社団法人 兵庫県タクシー協会 株式会社フクユ		代表取締役	松下 誠吾	同左
兵庫県交通運輸産業労働組合協議会 阪神地域協議会 阪急バス労働組合		副執行委員長	日田 守	欠席
認定NPO法人さわやか千の里		理事長	高田 憲二	同左
川西市コミュニティ協議会連合会 北陵コミュニティ協議会		会長	杉本 勝広	同左
社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	地域福祉チーム	副主幹	佐藤 健二	同左
川西市民		-	秋篠 彩	同左
国土交通省	神戸運輸監理部 兵庫陸運部	首席運輸企画専門官	田橋 一	運輸企画専門官 竹内 権太郎 (代理出席)
兵庫県	阪神北県民局 宝塚土木事務所	所長	雨宮 功	所長補佐 藤田 幸治 (代理出席)
兵庫県川西警察署	交通課	課長	黒阪 貢一	欠席
川西市	総合政策部	部長	石田 有司	副部長 船木 靖夫 (代理出席)
川西市	土木部	部長	五島 孝裕	同左

オブザーバー

牧の台コミュニティ協議会		会長	南野 繁夫	同左
緑台・陽明コミュニティ協議会		会長	高垣 久夫	同左
兵庫県	県土整備部県土企画局 交通政策課	副課長 兼 地域交通班長	奥藤 秀樹	同左(WEB)

事務局

所属	役職	氏名	所属	役職	氏名
土木部	副部長	阪上 哲生	土木部交通政策課	課長	小西 裕之
土木部交通政策課	課長補佐	山元 和子	土木部交通政策課	主査	後藤 宏之
土木部交通政策課	主任	重村 淳志	土木部交通政策課	主任	小松原 愛美

NEWS RELEASE



阪急バス株式会社

経営企画部（広報担当）

〒560-8551 大阪府豊中市岡上の町1丁目1-16

TEL 06-6152-8275 FAX 06-6152-6440

2021. 12. 21

通勤定期券・高齢者専用定期券の運賃改定
および深夜割増運賃適用時間帯の拡大について

阪急バス株式会社（本社：大阪府豊中市、社長：井波 洋）では、本日 12 月 21 日(火)、国土交通省近畿運輸局宛に、通勤定期券・高齢者専用定期券（グランドパス 65）の運賃改定および深夜割増運賃の適用拡大の申請を行いました。

申請理由および申請の概要は下記のとおりです。

記

1. 申請理由

弊社の路線バスを取り巻く環境は、コロナ禍以前から少子高齢化に伴う就業人口の減少等の理由により、バス利用者の減少が続く厳しい状況でありました。また、近年は運転士の要員不足も深刻化しております。

そのような中、新型コロナウイルスの影響により、弊社路線バスの運輸収入はこれまでになく著しく減少し、とりわけ、リモートワークや在宅勤務などの新たな働き方による通勤定期旅客の減少、さらには新たな生活様式への移行などにより、深夜時間帯のご利用も大幅に減少しております。

弊社では、これまで利便性の向上に加え、諸経費の削減や投資の抑制にも努めてまいりましたが、今後もお客様のご利用が以前の水準にまで回復しないと思われまます。引続き感染症の拡大防止策を徹底し、ご高齢者へのサービスも維持しながら、公共交通機関としてお客様にサービスを継続的に提供していただくためには、収支の改善が欠かせなくなっております。

お客様が日々安心してバスをご利用いただけるための安全快適な輸送サービスを提供し、乗合バス事業の経営健全化を進めるために、必要となる経費の一部をお客様にご負担いただくものでございます。

何卒ご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2. 申請の概要

(1) 申請日

2021 年 12 月 21 日（火）

(2) 運賃改定実施予定日

2022 年 4 月 1 日（金）

① 通勤定期券

定期割引率を変更します。

- ・割引率を 3% 引き下げ、通勤定期運賃額を改定します。

	改定前	改定後
割引率の改定	28%	25%

<通勤定期運賃表>

単位：円

区間 運賃	現行			改定後		
	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月
160	6,910	19,690	37,310	7,200	20,520	38,880
220	9,500	27,080	51,300	9,900	28,220	53,460
240	10,370	29,550	56,000	10,800	30,780	58,320
260	11,230	32,010	60,640	11,700	33,350	63,180
350	15,120	43,090	81,650	15,750	44,890	85,050
380	16,420	46,800	88,670	17,100	48,740	92,340
420	18,140	51,700	97,960	18,900	53,870	102,060

(備考) hanica 定期券, ゾーン定期券, ワイド定期券等が対象です。また、長岡京・淀線共通定期券及び阪神バス尼崎特区同調定期券も改定します。

② 高齢者専用定期券 (グランドパス)

定期運賃額を改定するとともに、新たな年齢区分を設定します。

- ・「グランドパス 65」……………65歳～69歳まで
- ・「グランドパス 70」(新設)… 70歳以上

単位：円

券種	グランドパス 65	グランドパス 65	グランドパス 70
	現行	改定後	新設
1ヶ月	5,800	6,800	6,400
3ヶ月	11,600	14,100	13,400
6ヶ月	22,000	26,700	25,400
1年	41,900	51,200	48,600

③ 深夜割増運賃適用時間帯の拡大

倍額運賃となる時間帯を、始発停留所発車時刻概ね 24 時以降から概ね 23 時以降に変更します。

3. お問い合わせ先

■この件に関するお問い合わせ先

阪急バス株式会社 経営企画部 TEL 06-6152-8275 / FAX 06-6152-6440

以上

(2) 地区別配布部数

案	1案【均等割】	2案【人口割】																																																																
概要	<p>・配布部数の3,000部を14地区で均等割する (端数は調査対象者数(16歳以上)の多い地区から順に振り分ける)</p> <table border="1"> <tr><td>No</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>数</td><td>214</td><td>214</td><td>215</td><td>214</td><td>214</td><td>215</td><td>214</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>No</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>数</td><td>214</td><td>215</td><td>214</td><td>214</td><td>215</td><td>214</td><td>214</td></tr> </table> <p>令和3年11月30日時点の人口から算出</p>	No								数	214	214	215	214	214	215	214	No								数	214	215	214	214	215	214	214	<p>・配布部数の3,000部を14地区で人口割する (調査対象者数(16歳以上)で按分する)</p> <table border="1"> <tr><td>No</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>数</td><td>172</td><td>211</td><td>263</td><td>171</td><td>203</td><td>284</td><td>195</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>No</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>数</td><td>248</td><td>275</td><td>119</td><td>245</td><td>259</td><td>207</td><td>148</td></tr> </table> <p>令和3年11月30日時点の人口から算出 街区単位については分類前の住所地に計上して算出</p>	No								数	172	211	263	171	203	284	195	No								数	248	275	119	245	259	207	148
No																																																																		
数	214	214	215	214	214	215	214																																																											
No																																																																		
数	214	215	214	214	215	214	214																																																											
No																																																																		
数	172	211	263	171	203	284	195																																																											
No																																																																		
数	248	275	119	245	259	207	148																																																											
メリット	・地区ごとに一定数の意見を確保することで、地区ごとの特徴や違いを把握しやすい	・人口当たりにおける回答の重みが平等																																																																
デメリット	・人口当たりにおける回答の重みが不平等 ・人口が少ない交通不便地へアンケートが行き渡らないと想定される	・人口が少ない地区の意見が少数しか取れない ・人口が少ない交通不便地へアンケートが行き渡らないと想定される																																																																
採用		数で評価する際に回答の重みが14地区で平等																																																																

(3) 調査項目と活用イメージ

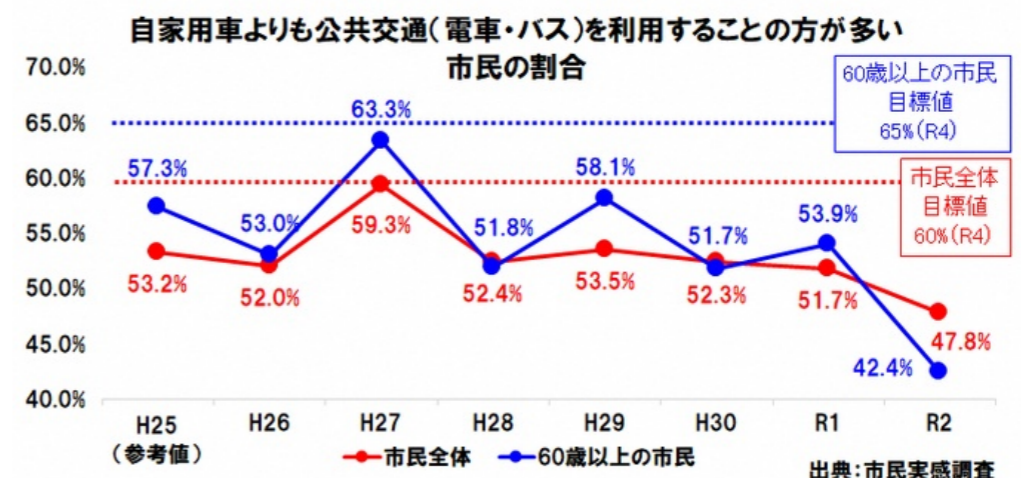
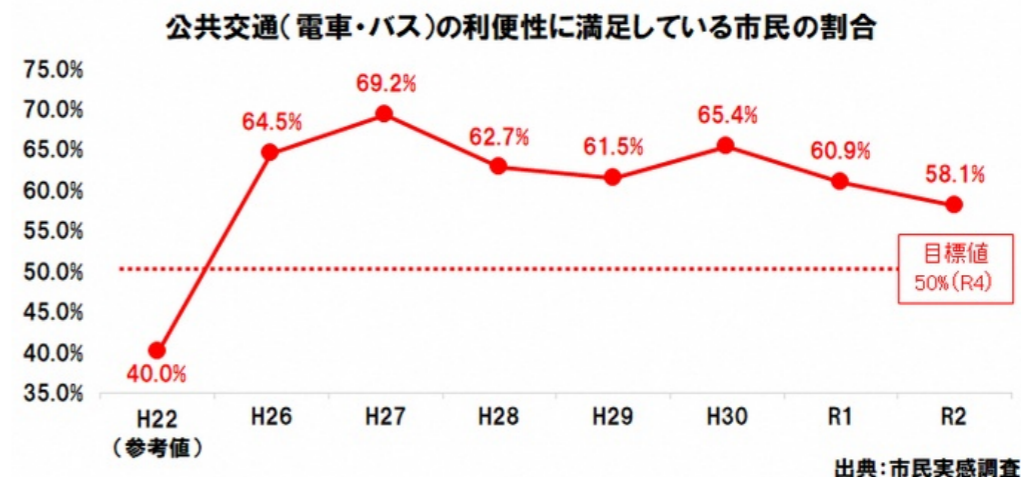
分類	調査項目	活用イメージ
個人属性	年齢、職業、郵便番号、免許・自動車保有の有無	回答者像の把握、他項目とのクロス集計
移動環境	鉄道駅までの所要時間、バス停までの所要時間、一人での外出の可否	交通不便地か否かの区別、一人で外出できない方は設問のスキップ
日常的な移動	<通勤・通学、買物、通院等の主目的に絞り以下を回答> 行先(店舗名、病院名)、利用交通手段	日常的な移動状況及び課題の把握、移動環境の評価
	外出時の困りごととその際の対応、移動環境の満足度	
交通手段別の利用頻度と満足度	<能勢電鉄、阪急電鉄、JR西日本、バス、タクシー別に以下を回答> 利用頻度、利用目的、利用区間、アクセス手段、満足度、要望	交通手段別の利用実態及び課題把握
	<特に路線バスは以下を回答> 利用しにくいと感じている点、今後の利用予定と理由	
公共交通サービスの方針	公共交通サービスの維持に関する意向	方針設定や計画に掲げる施策検討の基礎資料として活用
	求める公共交通サービスの取組	
自由意見	公共交通の利用者を増やすためのアイデア	利用促進に係るポジティブな意見収集

川西市公共交通基本計画の目標値(公共交通(電車・バス)の利便性に満足している市民の割合、自家用車よりも公共交通(電車・バス)を利用することの方が多市民の割合)の確認については、別途実施する市民実感調査により把握予定

【参考】川西市公共交通基本計画における計画目標値の達成状況(令和3年3月末現在)

公共交通(電車・バス)の利便性に満足している市民の割合
 ・50%(平成34年) 参考:40.0%(H22)

自家用車よりも公共交通(電車・バス)を利用することの方が多市民の割合
 ・市民全体 60%(平成34年) 参考:53.2%(H25)
 ・60歳以上の市民 65%(平成34年) 参考:57.3%(H25)



(4) スケジュール(予定)

内容	時期
調査内容協議(地域公共交通会議)	令和4年1月27日
調査内容最終案協議(地域公共交通会議)	令和4年3月中旬
調査対象抽出	令和4年4月上旬
調査票印刷・発送	令和4年4月中旬
調査票到着	令和4年4月下旬
調査票返送期限	令和4年5月中旬

3. 公共交通事業者ヒアリング調査

(1) 調査対象

- ・バス事業者 ... 阪急バス株式会社、伊丹市営バス
- ・鉄道事業者 ... 能勢電鉄株式会社、阪急電鉄株式会社、西日本旅客鉄道株式会社
- ・タクシー事業者 ... 市内に本社または営業所を有する法人タクシー事業者5社

株式会社フクユ、日の丸ハイヤー株式会社、朝日交通株式会社、
有限会社永和、北摂交通株式会社

(2) 調査項目と活用イメージ

調査項目	活用イメージ
利用状況	地域公共交通会議後の状況確認
維持が困難な区間、 持続する上での問題（乗務員不足等）	方針設定や計画に掲げる施策検討の 基礎資料として活用
<特にバス事業者> 路線見直し方針・予定の有無	
<特にタクシー事業者> 営業区域、営業区域外の配車依頼の対応	
利用促進への取組に関する意見交換	

(3) スケジュール（予定）

内容	時期
調査内容協議（地域公共交通会議会議）	令和4年1月27日
調査内容最終案協議（地域公共交通会議会議）	令和4年3月中旬
調査実施	令和4年5月下旬～7月下旬

4. 交通不便地の移動課題調査

(1) 調査対象

検討中（交通不便地に在住の市民）

(2) 調査項目と活用イメージ

調査項目	活用イメージ
移動支援の実施状況	地域公共交通会議後の状況確認
地区内の移動の問題点	日常的な移動状況及び課題の把握
移動支援の必要性	
（地域主体の移動手段導入の可能性・意見）	計画に掲げる施策検討の基礎資料として活用

(3) スケジュール（予定）

内容	時期
調査内容協議（地域公共交通会議）	令和4年1月27日
調査内容最終案協議（地域公共交通会議）	令和4年3月中旬
調査実施	令和4年6月上旬～9月下旬

(4) 交通不便地の設定

- ・駅から800m、バス停から400m以上離れた地域 かつ 市民の住所地がある地域

駅：徒歩10分 800m バス停：徒歩5分 400m

（徒歩速度：80m/分 不動産の表示に関する公正競争規約施行規則第10条(10)より）

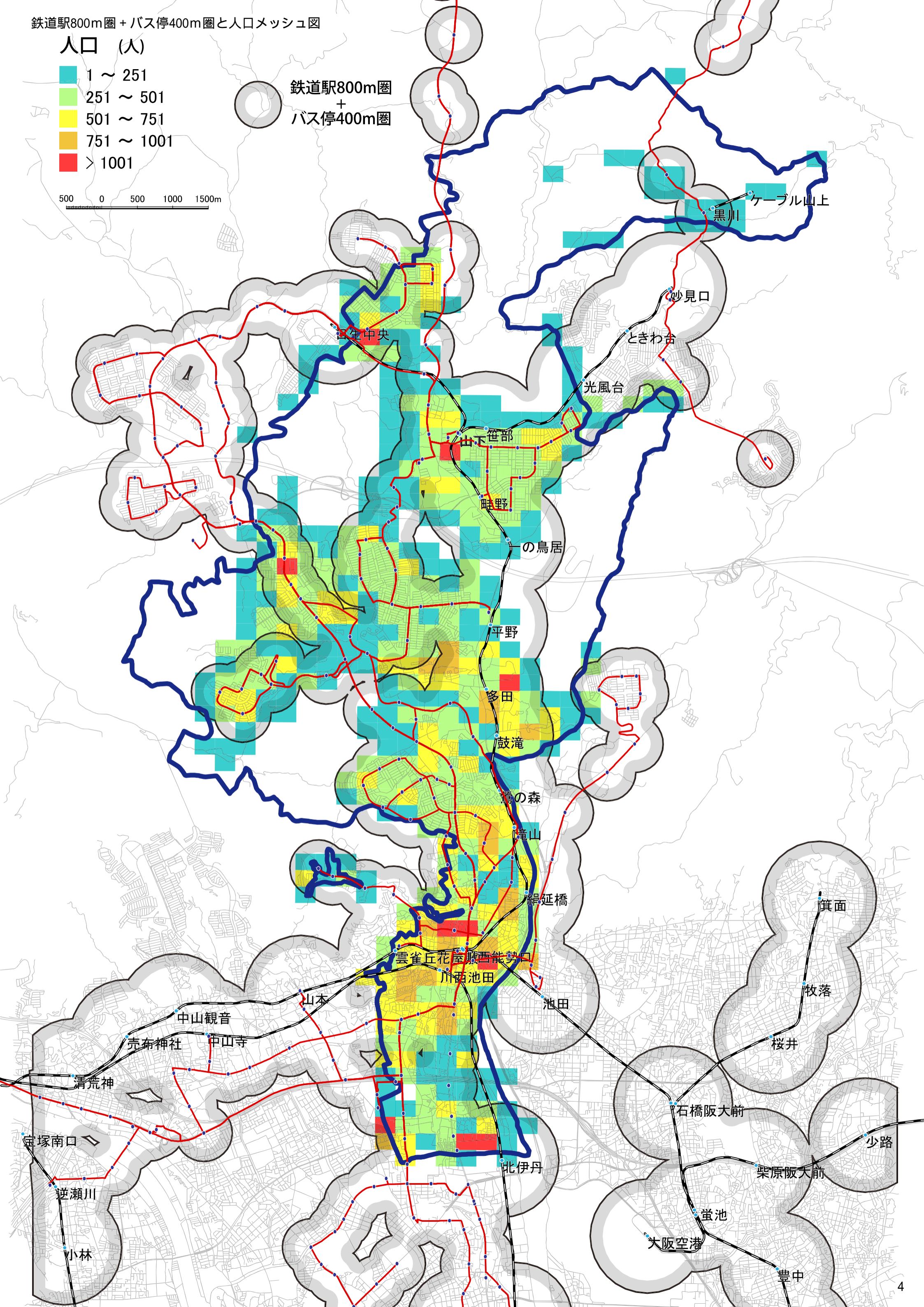
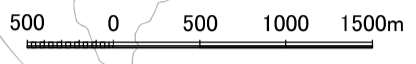
No	コミュニティ名	交通不便地（駅800m圏・バス停400m圏）
	久代	東久代1・2丁目の一部
	加茂小	-
	川西小学校区	-
	桜小	-
	川北	-
	明峰	-
	多田	新田2・3丁目の一部、多田院1・2丁目の一部
	多田東	東多田、鼓が滝2・3丁目の一部
	緑台・陽明	緑台3丁目の一部、向陽台1～3丁目の一部、水明台3丁目の一部
	清和台	石道の一部、虫生、赤松の一部、柳谷の一部、 清和台東1・2・4丁目の一部、清和台西2～5丁目の一部
	けやき坂	芋生の一部、若宮、けやき坂4丁目の一部
	東谷	西畦野1丁目の一部、山原1・2丁目の一部、緑が丘2丁目の一部、 一庫3丁目の一部、西畦野、一庫、国崎、黒川、横路
	牧の台	-
	北陵	-

鉄道駅800m圏 + バス停400m圏と人口メッシュ図

人口 (人)

- 1 ~ 251
- 251 ~ 501
- 501 ~ 751
- 751 ~ 1001
- > 1001

鉄道駅800m圏
+
バス停400m圏

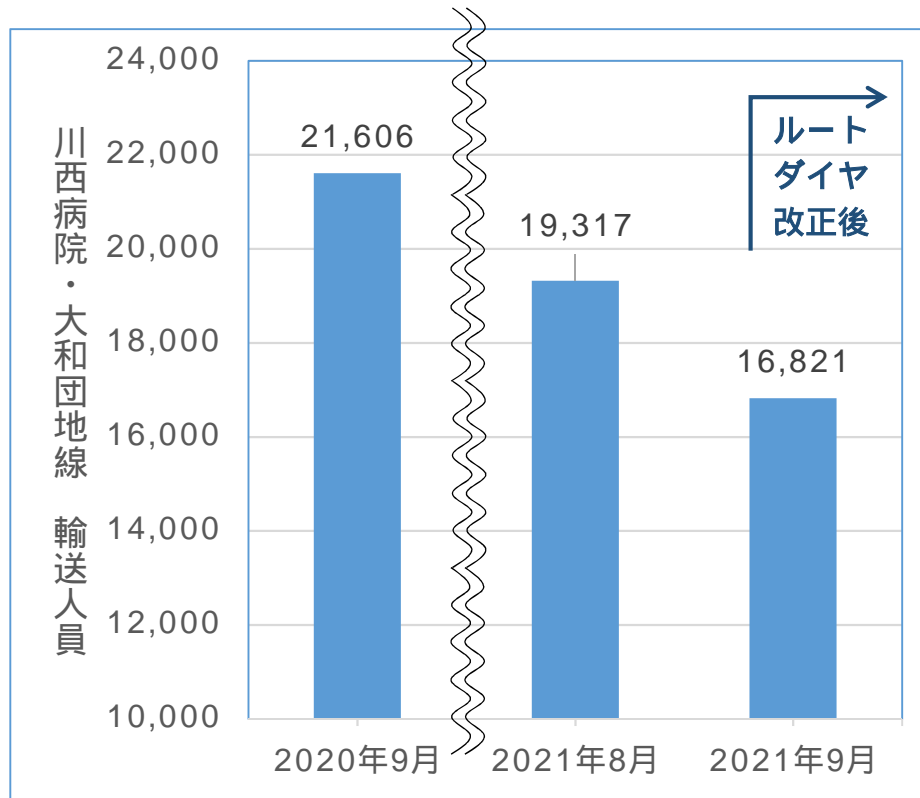


新ルート・ダイヤの効果について(速報値)

【資料3-1】

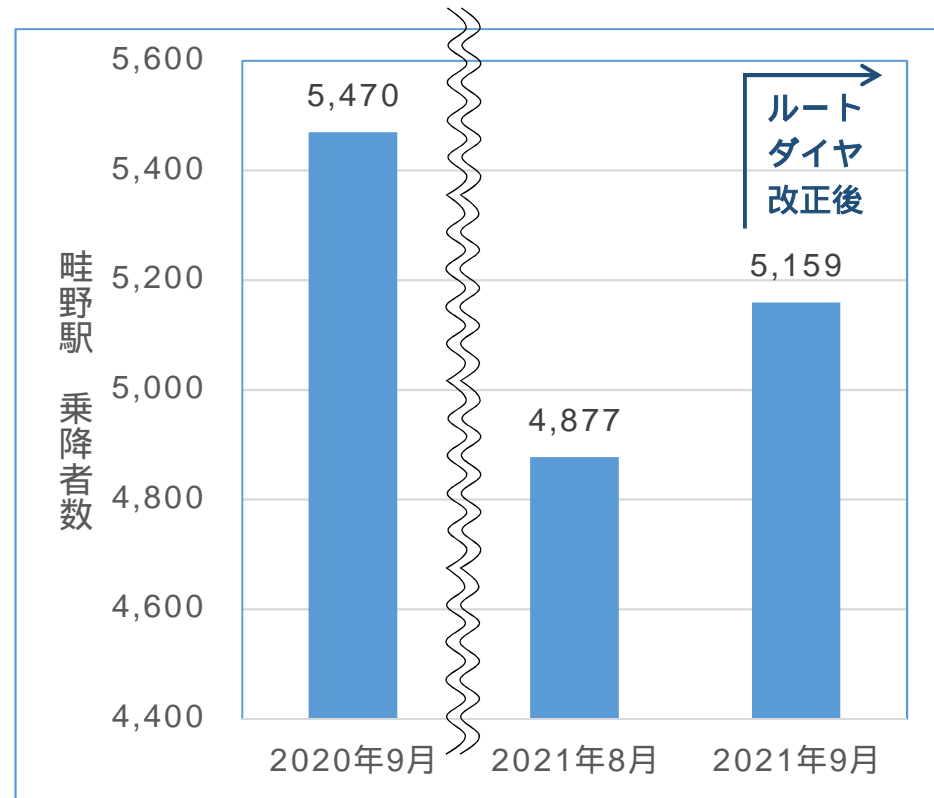
前回資料

川西病院・大和団地線 輸送人員(人/月)



現金 + ICカード利用者

畦野駅 乗降者数(人/月)



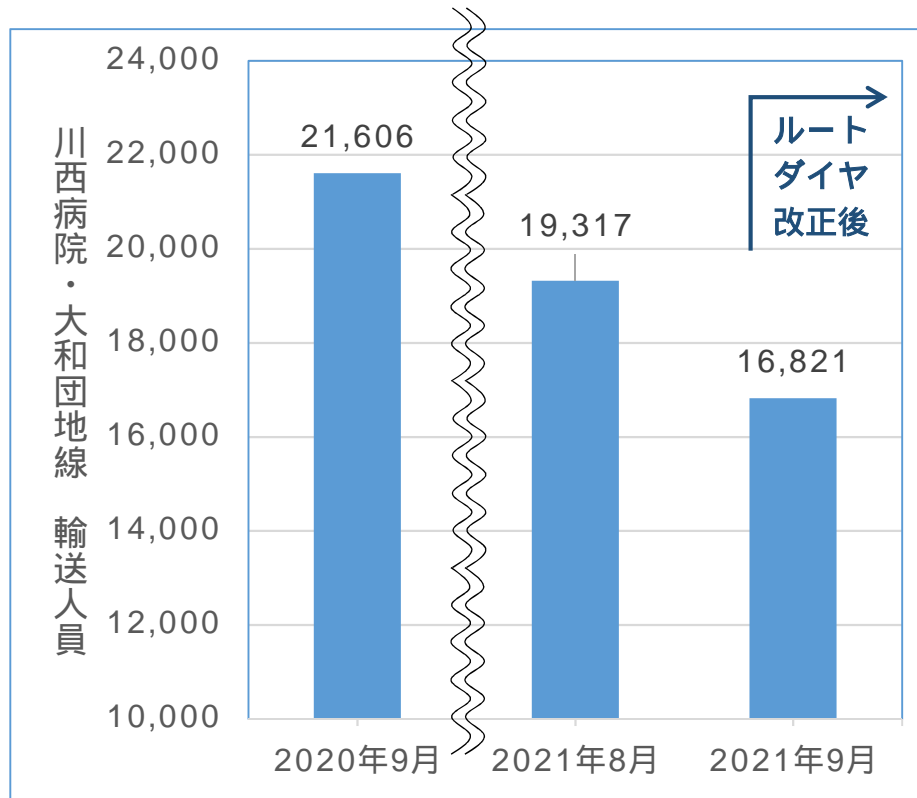
ICカード利用者のみ

出典：阪急バス株式会社資料

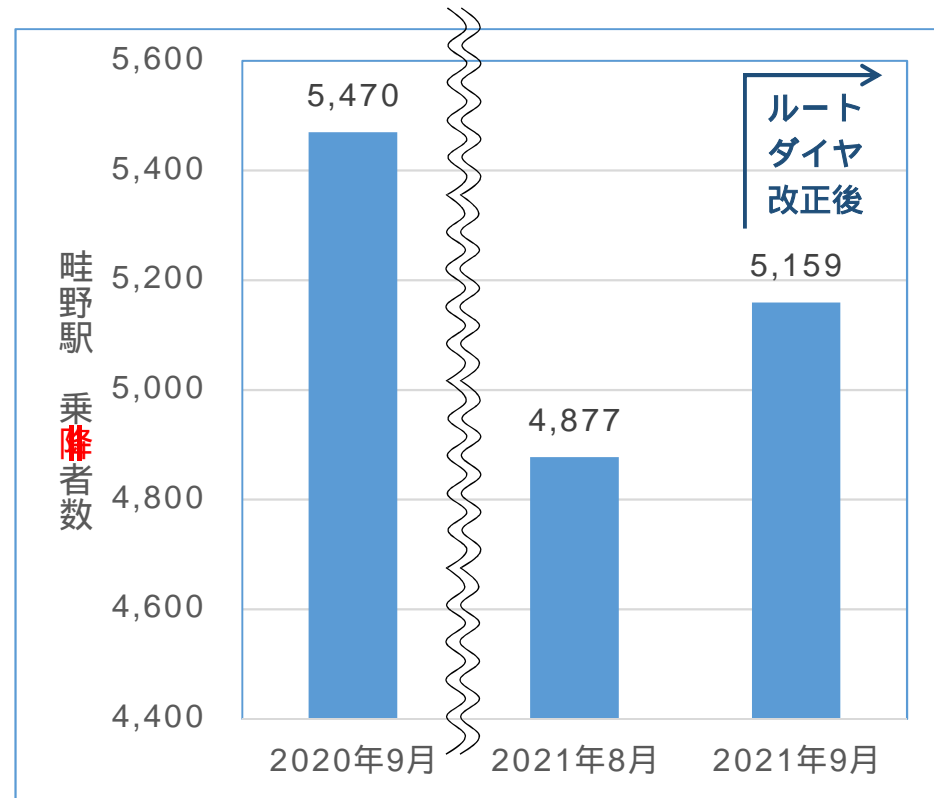
新ルート・ダイヤの効果について(速報値)

資料修正

川西病院・大和団地線
輸送人員 (人/月)



畦野駅
乗降者数 (人/月)



—現金+ICカード利用者

現金及びICカードに係る総利用額から
平均利用額で割って算出した人数と、
定期券・回数券に係る推定使用回数を足したものの。

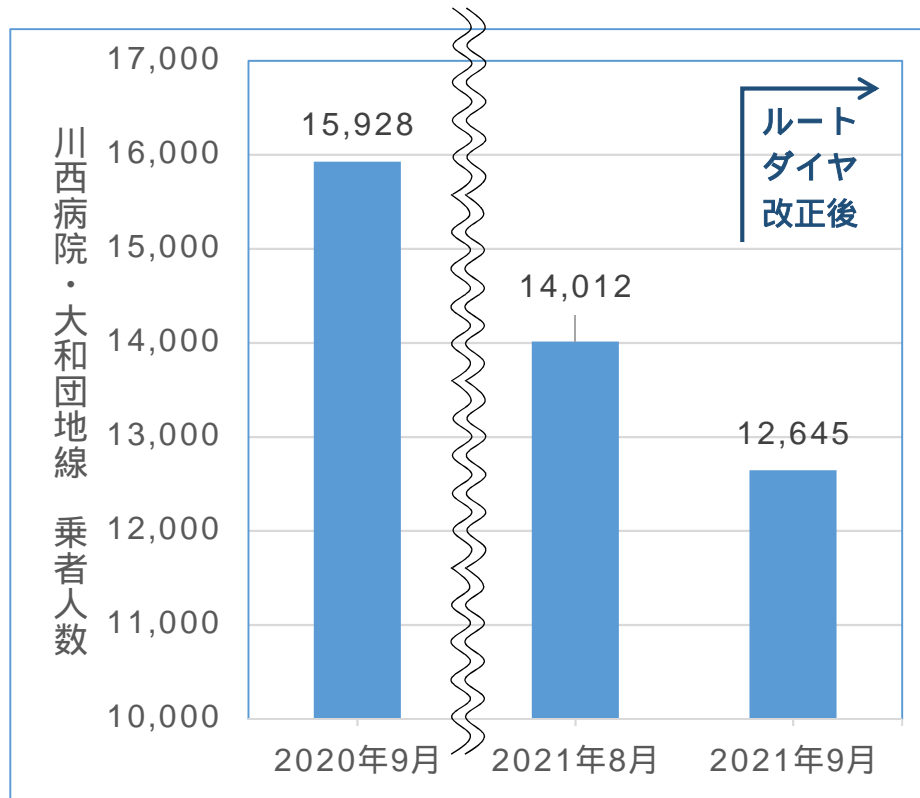
ICカード利用者のみ実数

出典：阪急バス株式会社資料

新ルート・ダイヤの効果について(速報値)

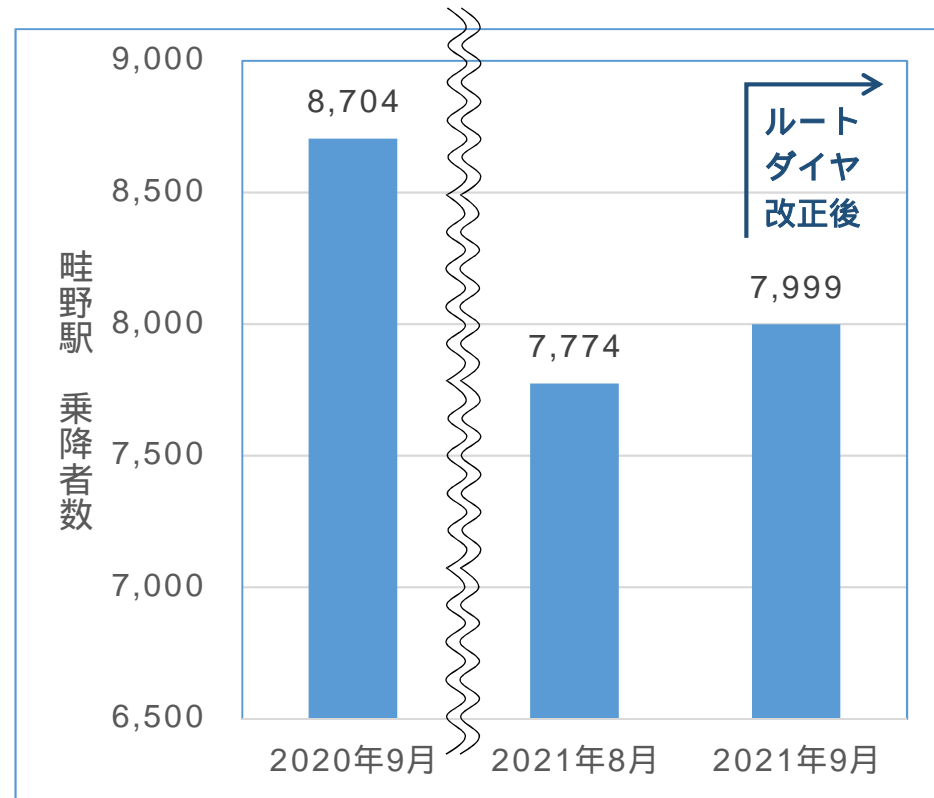
追加資料

川西病院・大和団地線 乗者人数(人/月)



ICカード利用者の実数

畦野駅 乗降者数(人/月)



ICカード利用者の実数

出典：阪急バス株式会社資料



(2)

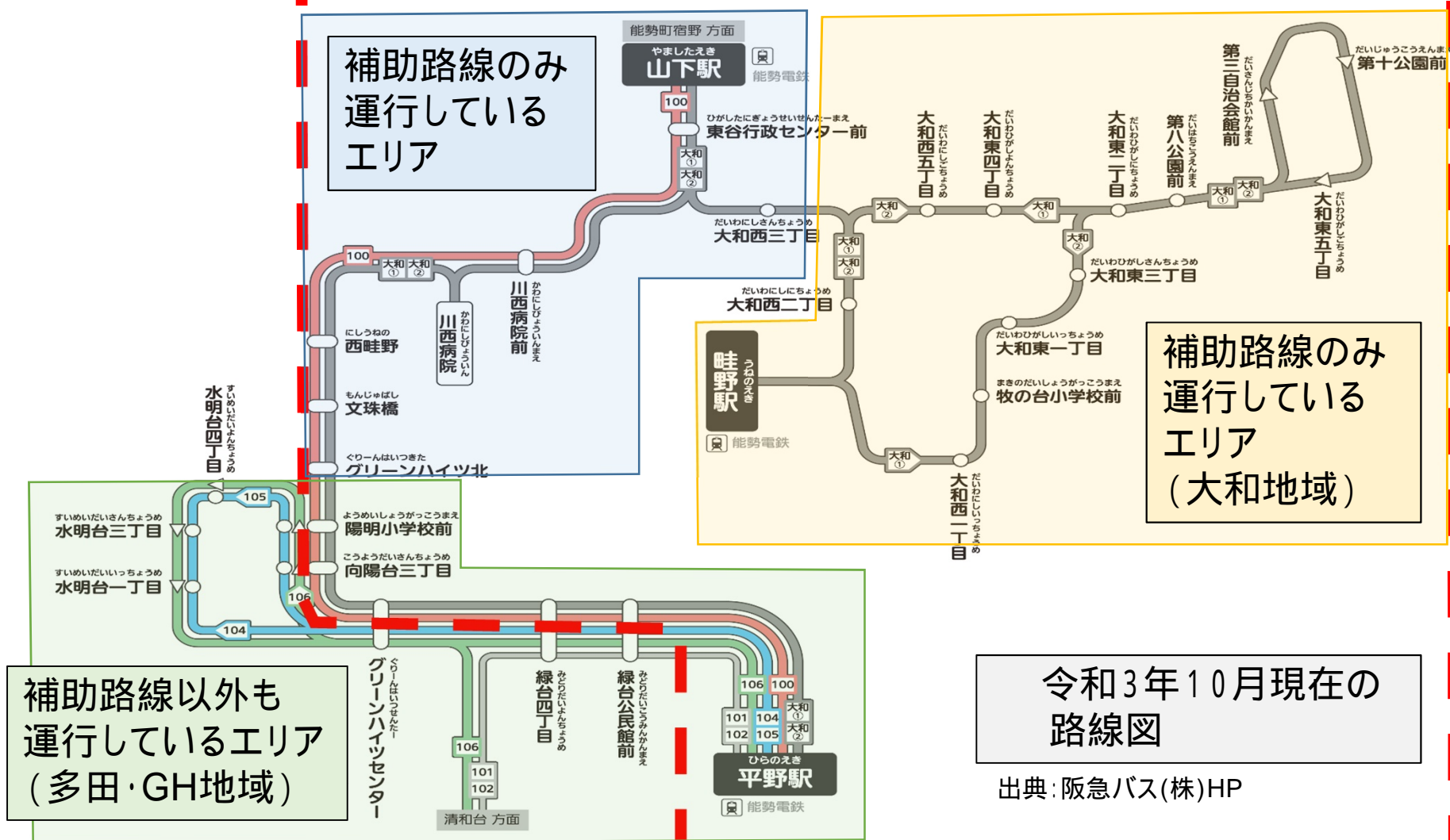
補助路線の現状と
補助路線の持続可能な
バス運行の検討について

目次

スライドタイトル	ページ数
【導入】路線図の概要	P . 2
大和地域の取組	P . 3
乗車人数の推移	P . 4
乗降調査・アンケート調査結果の速報	P . 5 ~ P . 7
現行ダイヤ・運賃にて運行できる乗車人数の目安について	P . 8、9
事業の継続が可能な運行案について	P . 10
今後のスケジュール	P . 11

【導入】路線図の概要

市内唯一の補助路線



大和地域の取組

進め方の方針

R3.9以降の新ルート・ダイヤの検証等を行う
住みよいまちづくりを進めるにあたり、バスは欠かせないため、地域住民が
一丸となり、バスを守り育てるために様々な活動を進める

令和3年11月以降の取組状況

大和交通検討委員会より発表

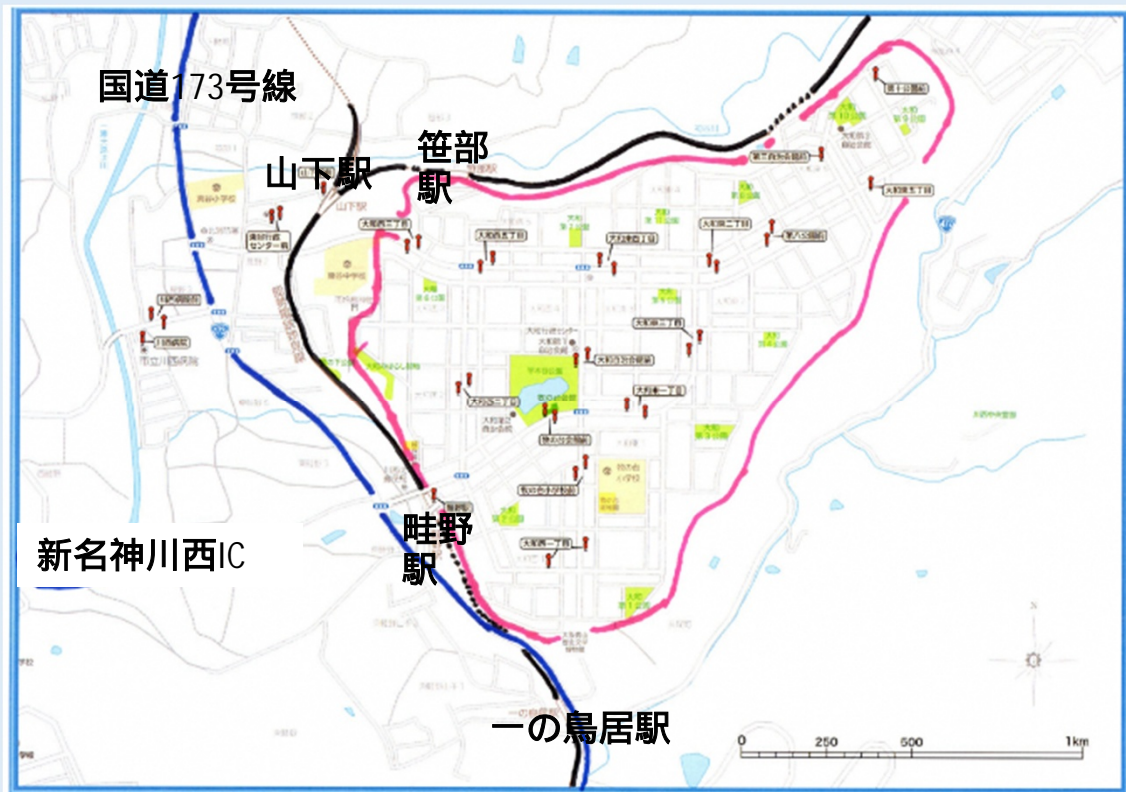
大和地域の 取組

令和4年1月27日
川西市地域公共交通会議資料

大和交通検討委員会



1、大和地域の現状



2021年(令和3年)3月31日現在

世帯数 4,831

人口 10,730人

65歳以上 4,417人(41.2%)

75歳以上 2,814人(26.1%)

川西市の高齢化率 31.5%

(出典:川西市地域福祉課)

65歳以上の一人暮らし 約500人

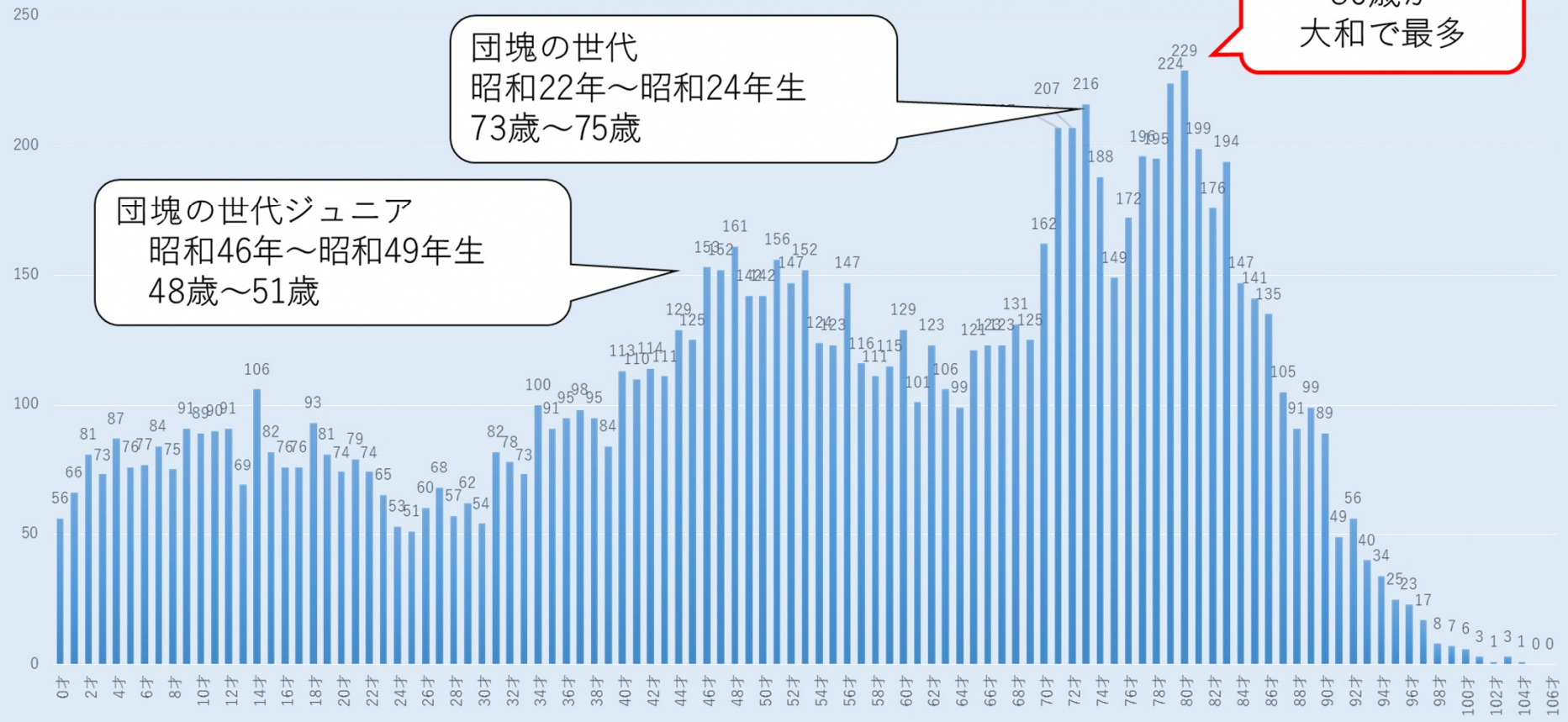
(出典:大和地区福祉委員会)

坂道

畦野駅周辺に生活関連施設が集中
建築ラッシュによる子育て世代の増加
運転免許証の返納

2、年齢別人口

大和地域人口分布（令和3年3月31日現在）10,730人



(出典：川西市地域福祉課の資料から作成)

3、初のルート・ダイヤ改正 (平成13年運行開始後初。令和3年9月1日実施)

(1) ルート変更

大和地域循環を解りやすいルートに【4→2ルート】(公共施設の2停留所休止)

(2) ダイヤ改正

超高齢社会に対応した昼間増便・朝晩便数調整【41→38便/平日】

朝2便減 夕8便減 昼7便増

平日		発車予定時刻表				畦野駅 停留所
行先	時刻	山下駅前 経由	大和自治会館前 経由	牧の台会館前 経由	牧の台小学校前 経由	大和西五丁目 経由
		川西病院 経由 平野	大和東四丁目 経由 大和団地 (循環)	大和東三丁目 経由 大和団地 (循環)	大和東三丁目 経由 大和団地 (循環)	大和東四丁目 経由 大和団地 (循環)
6			●11 ●58 ※35			
7			●22 ●46 ※15 ※35 ※55			
8	病02 病32		●16 ●44			
9	00		●14 ●44			
10	00		●44			
11	00		●44			
12	00		●44			
13	00		●44			
14	00		●44			
15	00		●44			
16	00		●44			
17	00		●24		◎54	◇44
18					◎14 ◎35 ◎55	◇04 ◇24 ◇46
19					◎15 ◎35	◇07 ◇27 ◇55
20					◎15 ◎55	◇35
21					◎36	◇16 ◇57
22					◎07	◇27

●=第十公園前→大和東三丁目→牧の台小学校前
注=川西病院止
※=第十公園前→大和東四丁目→大和西五丁目

◎=第十公園前→大和東四丁目→大和自治会館前
◇=第十公園前→大和東三丁目→牧の台会館前

道路状況等により遅延が生じる場合があります P 1557-01 2018/10 阪急バス株式会社

改正前



平日		発車予定時刻表			畦野駅 停留所
行先	時刻	大和西一丁目 経由	大和西二丁目 経由	山下駅前 経由	
		第十公園前→大和西二丁目 経由 大和①(循環)	第十公園前→大和西一丁目 経由 大和②(循環)	川西病院 経由 平野駅	
6		14	54	34	
7		34		14	54
8		21		44	
9		04		34	
10		04		34	
11		04		34	
12		04		34	
13		04		34	
14		04		34	
15		04		34	
16		04		34	
17		34		57	
18		17	57	37	
19		37		17	57
20		17	57	37	
21		57		27	
22				27	

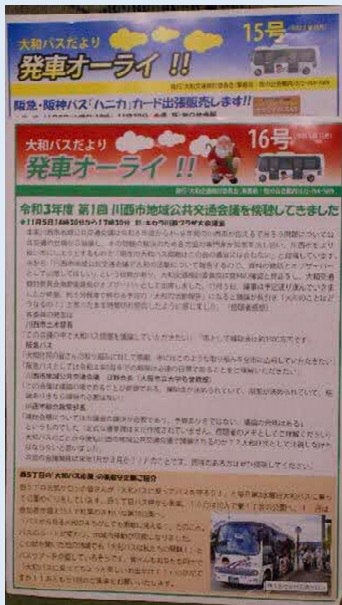
道路状況等により遅延が生じる場合があります P 1557-01 2021/09 阪急バス株式会社

改正後

出典: 阪急バスホームページ

4、地域の取組

(1) 大和バスだより
 発車オーライ!!全戸配布
 発行費用は地域住民の寄付



(2) バス乗車券
 (イベントでバス乗車券配布)
 景品は、阪急バスグッズ11月13日実施



(3) バス応援ポスター
 地域住民の手作りで、
 地域内に600枚掲示中



(4) バス塗り絵・絵の展示

11月



バス車内にも掲示



(5) 川柳の展示 バス車内にも掲示



(6) 大和地域内のツアー
公園巡り、買物



(7) 阪急バスの出張販売
阪急バスさんの協力により、
ハニカカードを出張販売



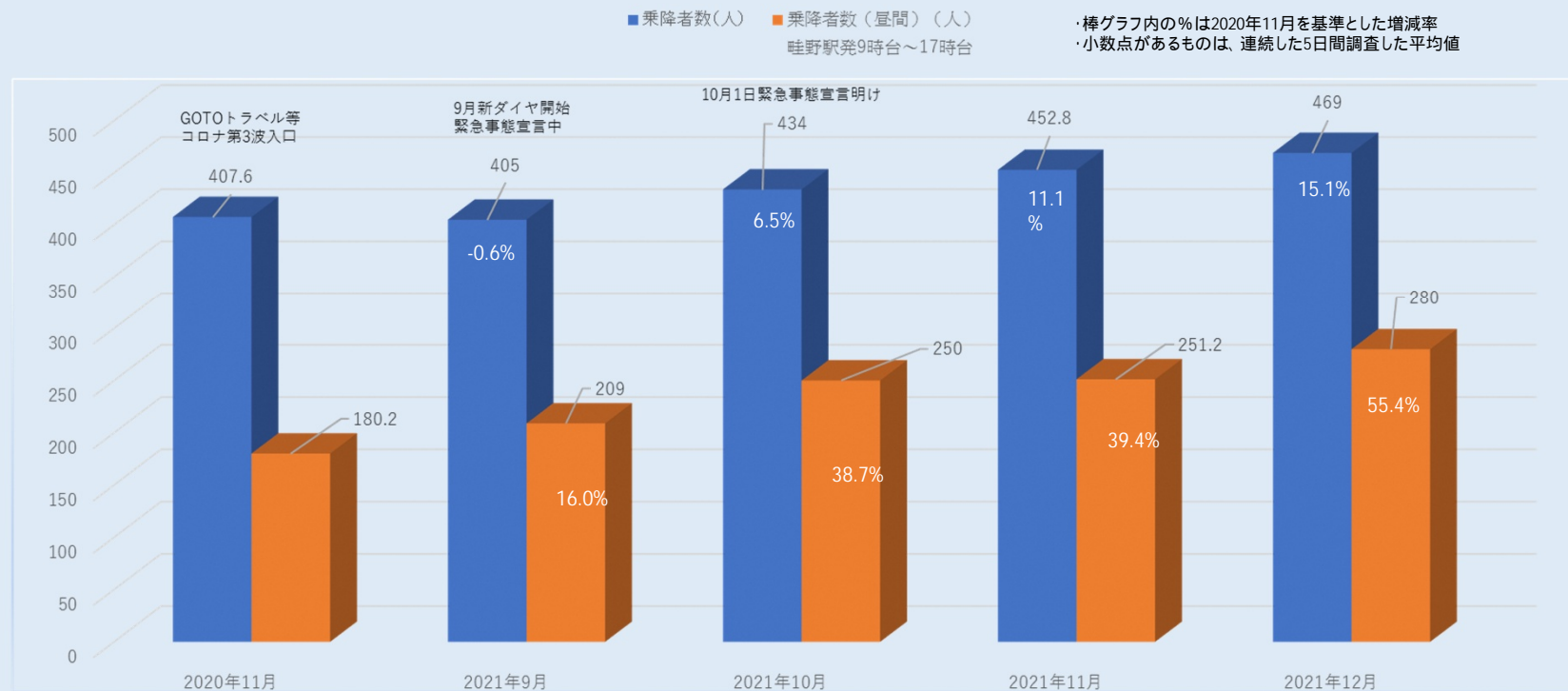
5、利用者調査

毎月第4火曜日に畦野駅で地域住民において利用者数の調査を実施。



(1) 乗降者数の推移

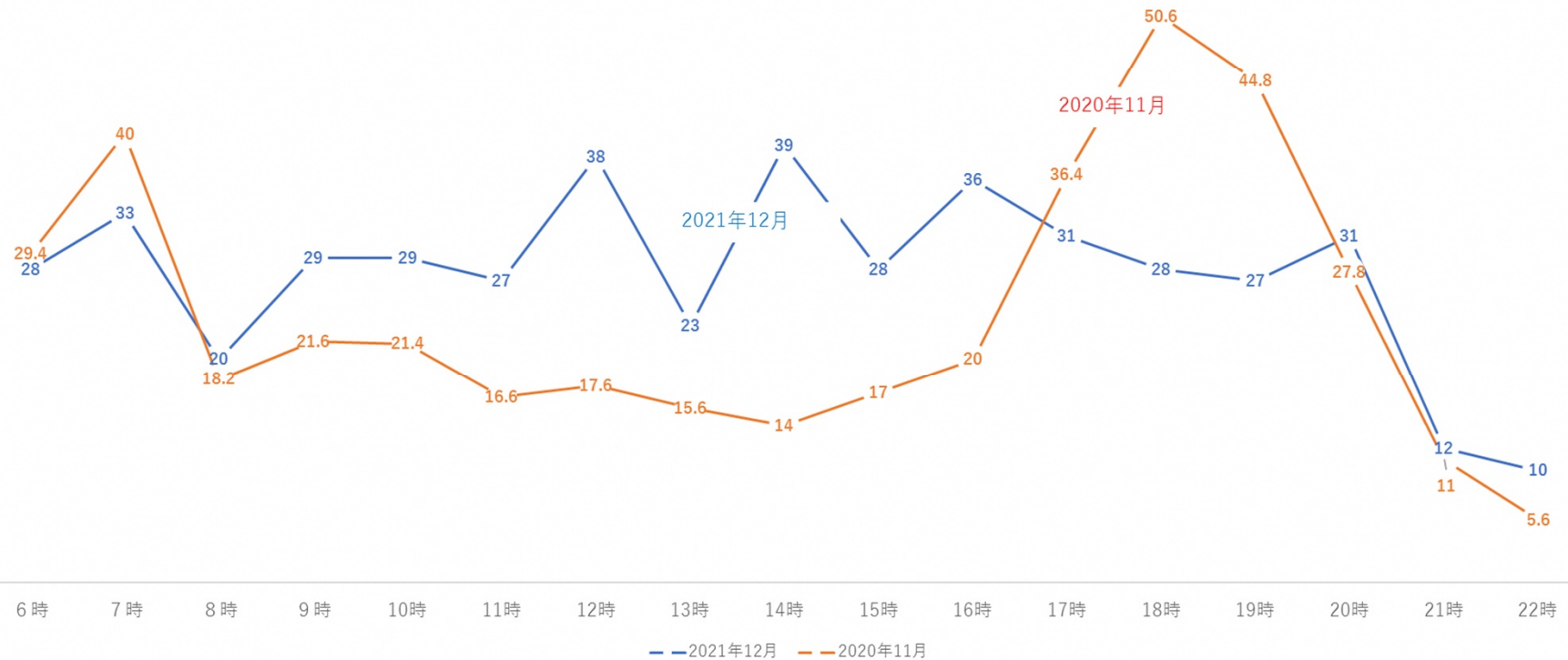
大和バス畦野駅一日（平日）の乗降者数の推移



(出典: 大和交通検討委員会調査資料)

(2) 時間別利用者数

畦野駅時間別乗降者数比較（平日）



6、地域の考え方

(1) 平日1日38便の存続【バスは地域のライフライン】

コロナ禍の中、初のルート・ダイヤ改正を実施して4ヶ月が経過、更なる利用者増に向けた方策の模索。(ダイヤの改正後の検証)

(2) 大和地域等の環境変化

畦野駅前にある市駐輪場が無料から有料化になる。(更なるバス利用者増)

市立川西病院移転。(跡地計画により病院ルート・ダイヤの検討が必要)

コロナ。(緊急事態宣言又は収束等で通勤通学及び日常生活に変化が生まれる)

大和地域の開発。(地域内の新たな開発及び近隣大型物流施設の建設により人口増)

(3) 川西市公共交通基本計画に沿って進めたい。(川西市地域公共交通会議の部会設置)

川西市公共交通基本計画に沿って、はじめて改正されたルート・ダイヤの検証を時間をかけて慎重に議論し進めていきたい。(失ったものは取り戻せない)

(4) 公共交通をどう守るか【大和だけの問題ではない】

川西市公共交通基本計画の推進。(行政・事業者・市民の役割分担、進行管理)

川西市公共交通会議の開催。(第1回は平成27年10月20日に開催、その後は未開催)

大和バスだより

発車オーライ！！



16号 (令和3年11月)



発行/大和交通検討委員会(事務局：牧の台会館内)072-794-7699

令和3年度 第1回 川西市地域公共交通会議を傍聴してきました

◆11月5日14時30分から17時30分 於:キセラ川西フラザ大会議室

本来川西市地域公共交通会議は令和6年度から4～8年間の川西市が抱えるであろう問題について公共交通の立場から協議し、その問題の解決のため各方面の専門家が知恵を出し合い、川西市をより良い市にしようとするもので「現在の大和バス問題はこの会の趣旨には合わない」と認識しています。市から「川西市地域公共交通会議で大和の活動について報告するので、資料の確認とオブザーバーとして出席してほしい」という依頼があり、大和交通検討委員会は資料の確認と修正をし、大和交通検討委員会南野委員長がオブザーバーとして出席しました。11月5日、議事は予定通り進んでいきましたが終盤、約5分程度で終わる予定の「大和の活動報告」になると議論が長引き「大和のことはどうなるの?」と思ったまま時間切れ閉会したように感じました。(傍聴者感想)

各委員の発言は

川西市土木部長

「この会議の中で大和バス問題を議論していただきたい」「市として補助金は約1500万円です」

阪急バス

「大和住民の皆さんの取り組みに対して感謝。市にはこのような取り組みを全市に広報していただきたい」

「阪急バスとしては令和4年9月までの期限は必達の目標であることをご理解いただきたい」

川西市地域公共交通会議 日野会長(大阪市立大学名誉教授)

「この会議は議論の場であることが前提である。補助金が決められていて、期限が決められていて、結論ありきなら議論の必要はない」

川西市総合政策部長

「補助金額については市議会の議決が必要であり、予算ありきではない。議論の余地はある」

というものでした(正式な議事録はまだ作成されていません。傍聴者のメモとしてご理解ください)

大和バスのことが今後も川西市地域公共交通会議で議論されるのか??大和住民として注視しなければならぬと思いました。

次回の会議開催は来年1月か3月か??とのこと。興味のある方はぜひ傍聴してください。

西5丁目の「大和バス応援」の素敵な企画ご紹介

西5丁目元気サロンの皆さんが「大和バスに乗ってバスを守ろう!」と毎月第3水曜日大和バスに乗って公園めぐりをしています。西5丁目バス停から乗車。10月は10人で東1丁目の公園へ、11月は参加者が増え15人で紅葉のきれいな第10公園へ。

「バスから見る大和のまちがとても素敵に見える!」とのこと。

バスのルートが変わり、地域内移動が可能になりました。

この話を聞いた他の地域でも「大和バスは私たちの問題!」と

バスツアーを企画しているそうです。皆さんもお友たち同士で

「大和バスに乗ってちょっと楽しいお出かけ!!」いかがです

か!!あともう1回のご乗車をお願いいたします。



西5 おでかけ元気サロン



活動報告



10月12日 第32回 大和交通検討委員会 地域(9人) 阪急バス(2人) 川西市(3人) コンサル(1人) 西山議員
市が実施予定のバス調査と今後のスケジュールについて議論しました。

10月22日 第33回 大和交通検討委員会 地域(7人) 川西市(2人) 西山議員
11月開催予定の川西市地域公共交通会議について市からの説明を聞きました。

10月26日 畦野駅前乗降者数調査 (コミュニティ・大和自治会・福祉委員会)

10月29日 第34回 大和交通検討委員会 地域(8人) 川西市(1人)
川西市地域公共交通会議の資料「大和の活動」について最終確認しました。

11月5日 令和3年度 第1回 川西市地域公共交通会議

南野委員長がオブザーバーとして出席 大和から傍聴7人

11月9日 牧の台会館で阪急バスハニカカード出張販売!! 35枚ご購入いただきました。

当日は阪急バス担当者様以外に3人応援に来ていただきました。

ハニカカード購入者の皆さんに携帯用除菌シートをプレゼントしていただきました。

11月9日 第35回 大和交通検討委員会 (阪急バス・川西市合同) 詳細は次号に掲載します。



毎月畦野駅乗降者数調査をしています

大和交通検討委員会は地域各団体にご協力いただき、毎月畦野駅バス停で乗降者数調査をしています。右の表は2020年11月9日(月)～13日(金) 2021年11月8日(月)～12日(金)に調査した平日一日の平均乗客数です。

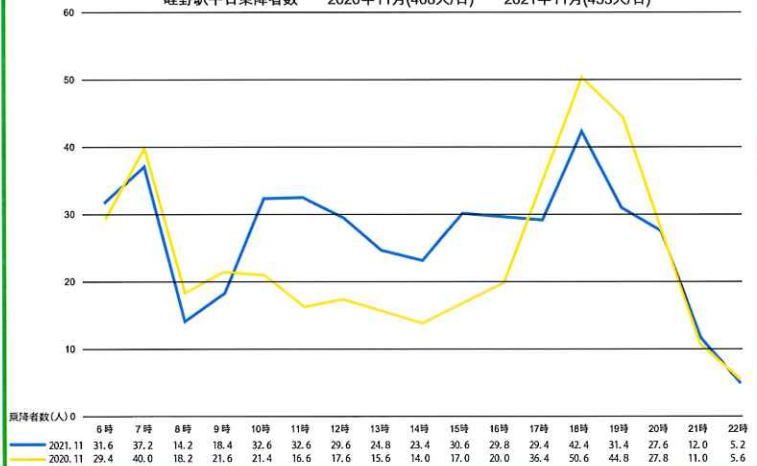
2020年11月は408人/日・2021年11月は453人/日が畦野駅で乗り降りしました。

(前年比約11%増) 時間毎に見ると朝晩は減少、昼間は増加しています。

11月実施の1週間乗降者数調査には各団体から53人の皆さんにご協力いただきました。感謝!!

大和バス畦野駅乗降者数(平日)

畦野駅平日乗降者数 2020年11月(408人/日) 2021年11月(453人/日)



大和バス川柳に

32句のご応募ありがとうございました。

読めば読むほど「大和バス愛」にあふれた力作ぞろい!!
近日中に大和きんたくんバス車内や畦野駅バス停の屋根、各会館やいろんな所に掲示します。お楽しみに!!

大和バスの各バス停時刻表

能勢電⇒大和バスの乗り継ぎ時刻表

牧の台会館・第1自治会館・第2自治会にあります。

お問い合わせは牧の台会館まで

☎(794-7699)

バスだより「発車オーライ」発行のための募金にご協力をお願いします!!

「次号で会計報告の予定です」

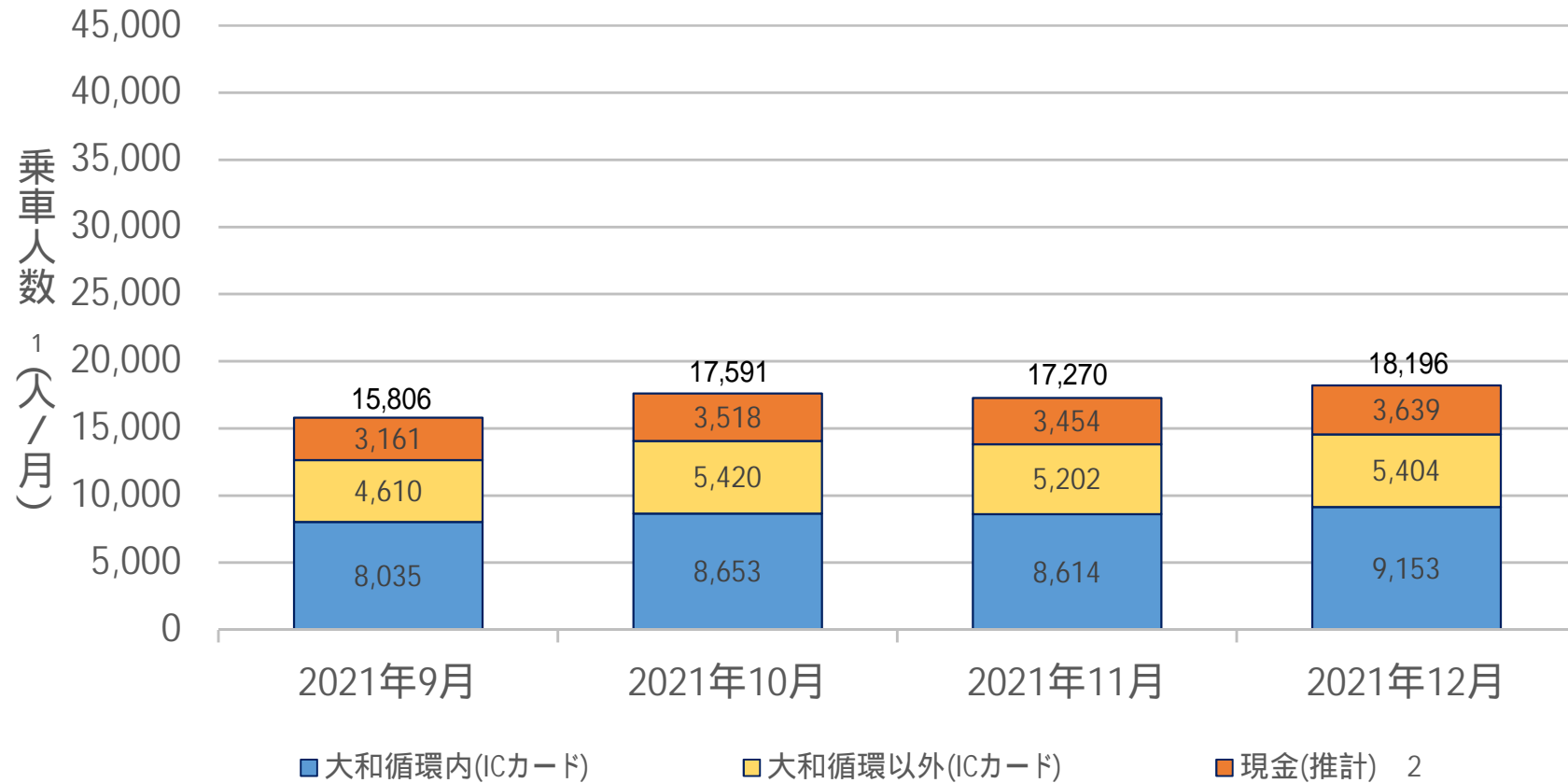


お願い:大和バス応援ポスターをご自宅に掲示していただける方、牧の台会館までご連絡ください。

〈編集後記〉

ご意見箱にご意見をいただきありがとうございます。今回は紙面の都合ですべてをご紹介できず、申し訳ありません。「バスの乗り方がわからない」というお声が届いています。阪急バス発行の乗り方説明書がありますので取り寄せます。「各バス停の時刻表をバスだよりに掲載してほしい」とご意見をいただきました。そのことも過去に検討いたしましたが、文字も小さくなりかえってわかりにくくなるので、A4サイズ各バス停時刻表を作成し各会館に置いてあります。それをご利用いただきますようお願いいたします。不明な点は牧の台会館にお問い合わせください。ご連絡お待ちしております。発車オーライ次号は1月発行です。皆さま、よいお年をお迎えください。

乗車人数の推移



1 平日・休日を含めたICデータを基にした乗車人数

2 現金(推計)・・・現金利用者とICカード利用者の割合は1:4として計算した
データ提供: 阪急バス(株)

乗降調査・アンケート調査結果の速報(1)

目的

R3.9～ダイヤ変更後の利用者数の把握及び利用者の利用状況を調査する

実施日

令和3年12月5日(日) 始発(6:44発)～終便(19:53着)

令和3年12月7日(火) 始発(6:13発)～終便(22:43着)

対象者

川西病院・大和団地線バス利用者

調査方法

乗降調査(OD)

どのバス停から乗車し、どのバス停で降車したかを調査する

アンケート調査

乗客にアンケートはがきを配布し、後日郵送にて回収する

12月14日(火)までに投函いただくよう周知

今回は12月17日(金)受領分までを集計した

乗降調査・アンケート調査結果の速報(2)

アンケートはがき

おもて

料金受取 人払い	666 8501
135	<受取人> 川西市中央町12番1号 川西市 土木部 交通政策課 行

バーコード

アンケート調査のお願い

川西市では川西病院・大和団地線の利用状況を把握するためアンケート調査を実施しております。大変お忙しいところ恐縮ではございますが、本ハガキに記載された設問にご回答の上、郵便ポストに12月14日(火)までにご投函ください(切手は不要です。)回答内容は本検討の目的のみに使用し、本人が特定されないように処理いたしますので、何卒ご協力のほどよろしく願います。

川西市土木部交通政策課 TEL 072-740-1180

下記の質問に回答をお願いします。選択肢がある場合は、それぞれ1つ○をお願いします。質問は裏面にも続きます。

問1 あなたが乗車・降車したバス停は

乗車 バス停		降車 バス停	
-----------	--	-----------	--

問2 あなたのご年齢は

1. 12歳以下 2. 13~19歳 3. 20歳台
4. 30歳台 5. 40歳台 6. 50歳台
7. 60歳台 8. 70歳台 9. 80歳以上

問3 今回バスに乗車した主な利用目的は何ですか

1. 通勤 2. 通学 3. 通院
4. 買い物 5. 習い事・趣味 6. 飲食
7. その他

路線 NO:

裏面へ続きます

うら

問4 この路線のバスの利用頻度はどの程度ですか

1. ほぼ毎日 2. 週に3~5日
3. 週に1~2日 4. 月に1~2日
5. 年に数日 6. 今日が初めて

問5 今回どのような形で運賃を支払われましたか

1. 現金 2. ICカード(hanica、PiTaPa、ICOCA等)
3. 定期券(hanica 通勤・通学定期券)
4. はんきゅうランドパス 65

問6 バス以外に使える外出手段は何ですか

(あてはまるものすべてに)

1. 車・バイク(自分が運転)
2. 車・バイク(他の人に乗せてもらう)
3. 自転車 4. その他()

問7 お住まいの地域はどちらですか

1. 大和地域 2. 大和地域以外

問8 大和地域内にお住まいの方にお聞きします。

現在大和地域内のバスは初乗り運賃が160円となっています。運賃が以下の金額になった場合、バスを利用すると思いますか。

180円になった場合	1. 利用すると思う 2. 利用しなくなると思う 3. 分からない
200円になった場合	1. 利用すると思う 2. 利用しなくなると思う 3. 分からない
220円になった場合	1. 利用すると思う 2. 利用しなくなると思う 3. 分からない
250円になった場合	1. 利用すると思う 2. 利用しなくなると思う 3. 分からない

【参考】多田・グリーンハイツ地域の初乗り運賃：220円

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

乗降調査・アンケート調査結果の速報(3)

利用人数

12月5日(日)・・・261人

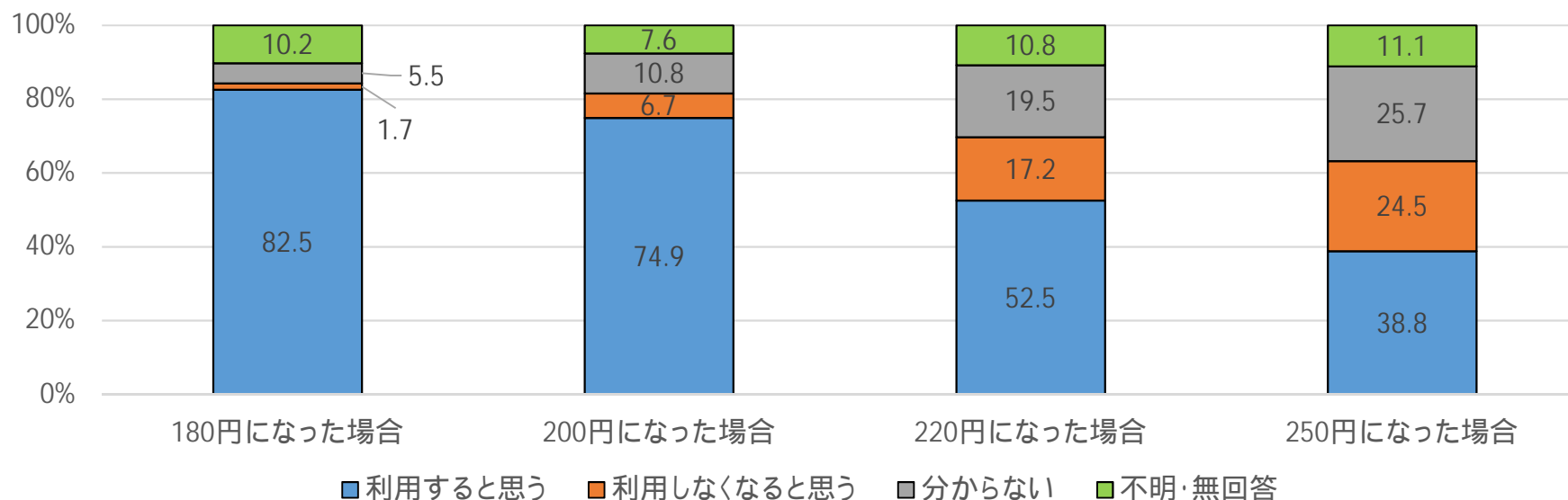
12月7日(火)・・・833人

アンケート回収数

567枚 (回収率約51.8%) 12月17日(金)受領分まで

アンケート回答状況(問8の回答抜粋(n=343))

問8:大和地域内にお住まいの方にお聞きします。現在大和地域内のバスは初乗り運賃が160円となっています。運賃が以下の金額になった場合、バスを利用すると思いますか。



構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

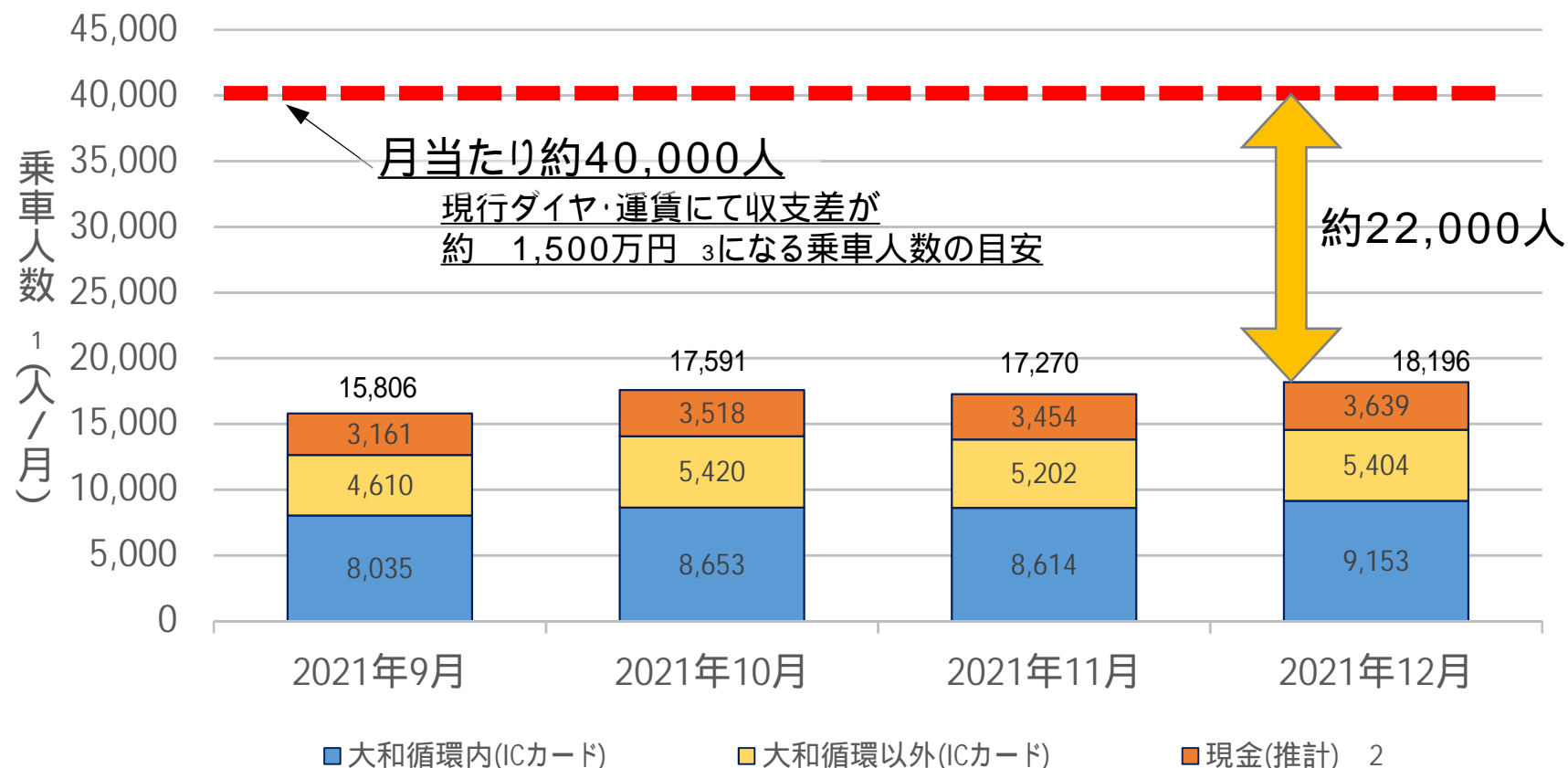
現行ダイヤ・運賃にて運行できる 乗車人数の目安について(1)

現在の運行状況について

		R3.9～現行	
		平日	土休日
台数・運転士数		4台・5人	3台・3人
便数	大和	38	21
	平野-山下	32	16
	合計	53	21
運賃	多田グリーンハイツ以外	160円	
	多田グリーンハイツ	220円	
経費		77,261千円	
32万人利用時の 収入から試算	収入	40,298千円	
	収支差	36,963千円	
23万人利用時の 収入から試算	収入	30,214千円	
	収支差	47,047千円	

32万人...2018年10月～2019年9月の実績、23万人...2020年10月～2021年9月の実績

現行ダイヤ・運賃にて運行できる乗車人数の目安について(2)



- 1 平日・休日を含めたICデータを基にした乗車人数
- 2 現金(推計)・・・現金利用者とICカード利用者の割合は1:4として計算した
- 3 約 1,500万円・・・市が補助金として現行支出している概ねの額

データ提供: 阪急バス(株)

事業の継続が可能な運行案について

シミュレーション比較

三者(市、地域、阪急バス)の間で合意に至っていない案です

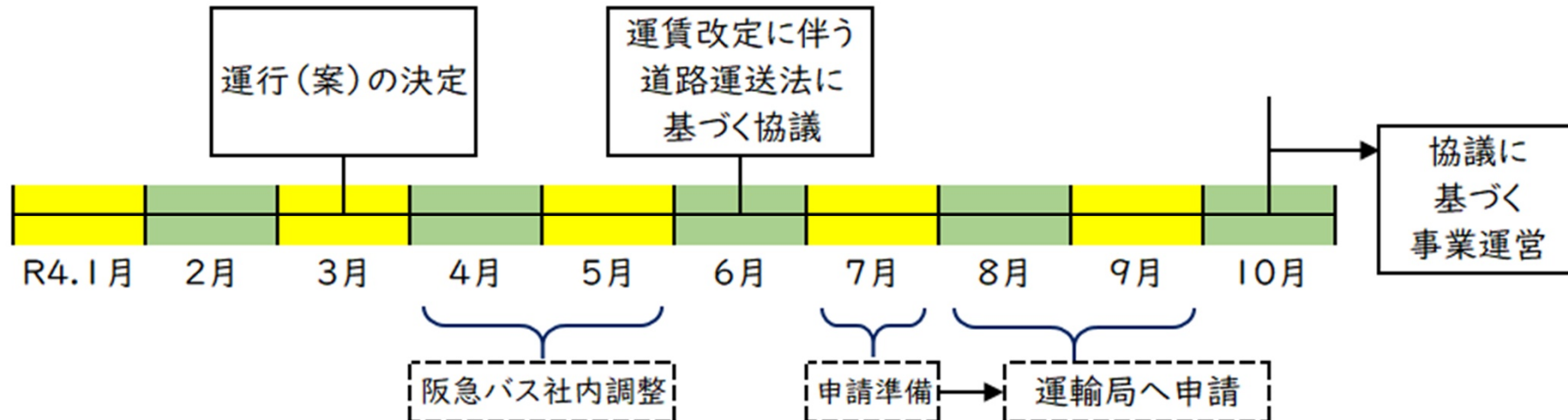
		現行		A 案		B 案	
		平日	土休日	平日	土休日	平日	土休日
台数・運転士数		4台・5人	3台・3人	2台・3人	1台・1人	2台・2人	1台・1人
便数	大和	38	21	38	12	30	12
	平野-山下	32 (100)	16 (67)	6 (100)	4 (67)	7 (100)	4 (67)
	合計	53	21	44	16	37	16
運賃	多田GH以外	160円		220円		220円	
	多田GH	220円		220円		220円	
経費		77,261千円		44,118千円		36,155千円	
32万人利用時の 収入から試算	収入	40,298千円		30,562千円		28,686千円	
	収支差	36,963千円		13,556千円		7,469千円	
23万人利用時の 収入から試算	収入	30,214千円		22,914千円		21,508千円	
	収支差	47,047千円		21,204千円		14,647千円	

32万人...2018年10月～2019年9月の実績、23万人...2020年10月～2021年9月の実績
()内は阪急バス(株)が平野駅-陽明小学校前において運行している便数(市補助便数除く)

今後のスケジュール

スケジュールの要点

令和4年 3月	運行(案)の決定
令和4年 6月	運賃改定に伴う道路運送法に基づく協議
令和4年 10月以降	協議に基づく事業運営



アンケート調査結果（速報）【資料3-3】

調査概要

（目的）

ダイヤ変更後の利用者数の把握及び利用者の利用状況を調査する。

（調査方法）

バスの乗客に降車時にアンケートはがきを配布し、後日郵送にて回収。

（配布対象路線 / ダイヤ）

川西病院・大和団地線

令和3年12月5日（日） 始発～終便

令和3年12月7日（火） 始発～終便

（配布回収状況）

配布数： 12月5日（日）261枚

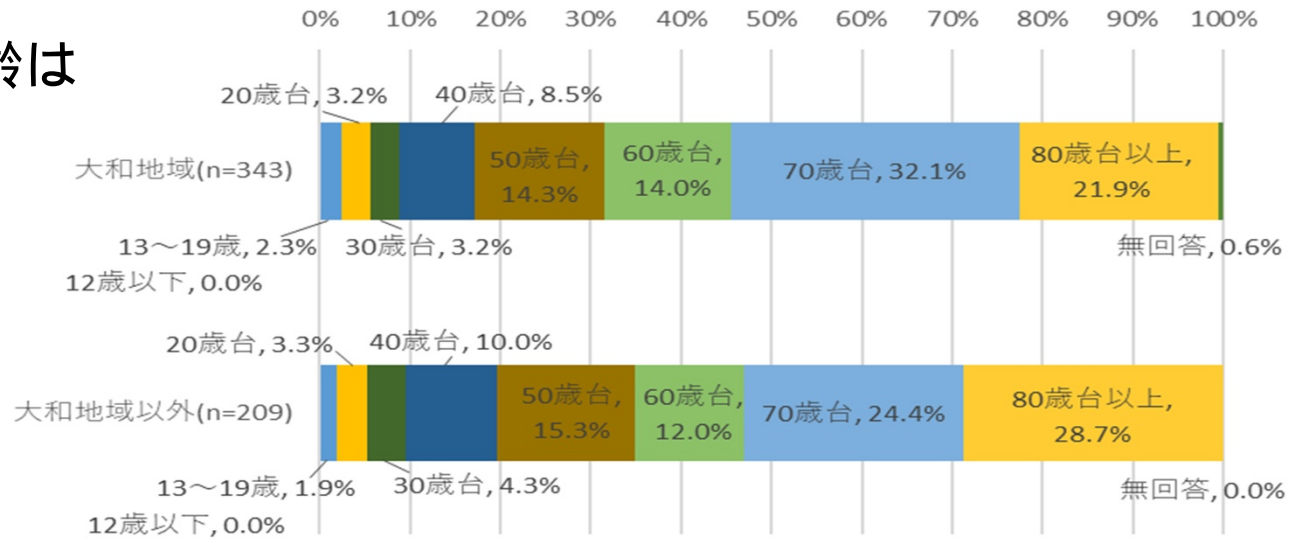
12月7日（火）833枚

回収数：567枚

12月17日（金）受領分までを集計している

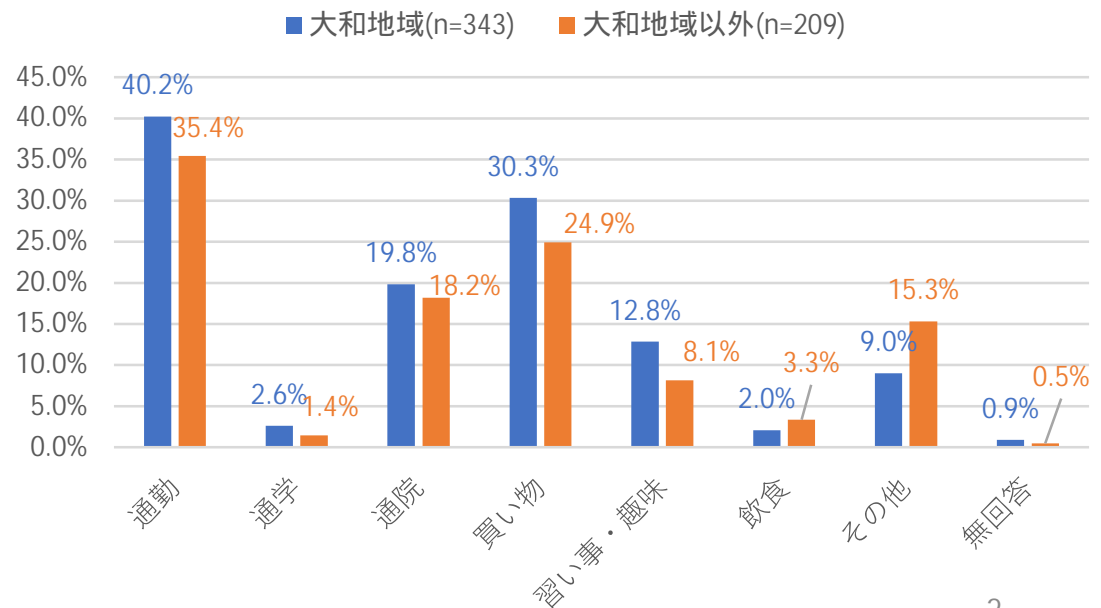
調査結果

問 2 : あなたのご年齢は



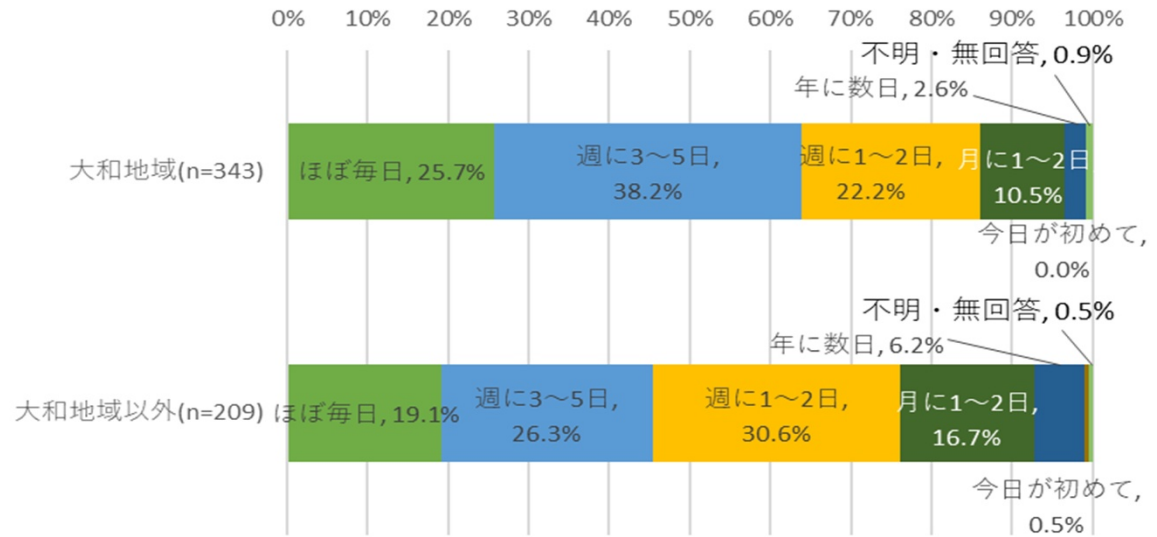
問 3 : 今回バスに乗車した 主な利用目的は何ですか

複数回答の場合も集計している

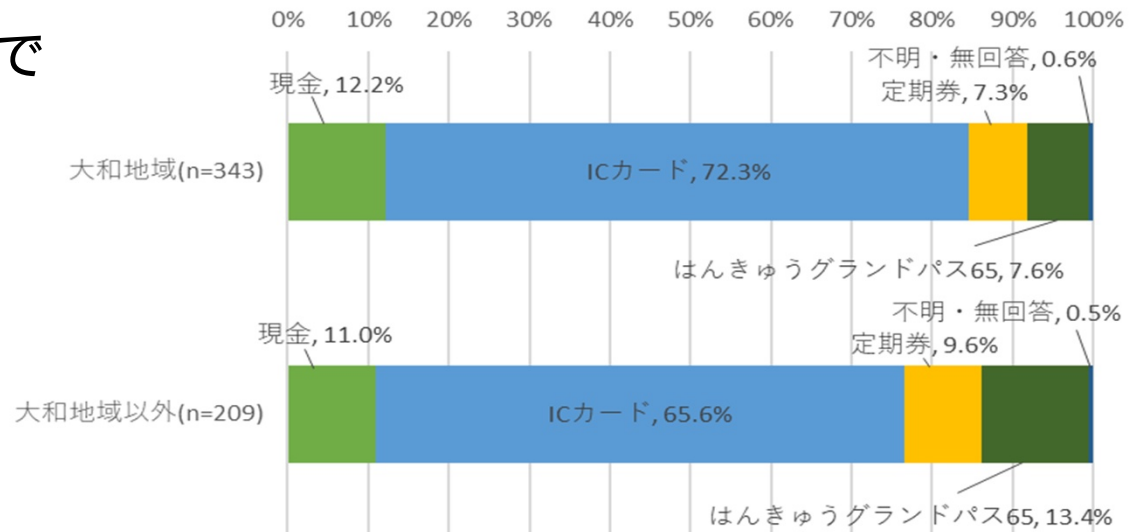


調査結果

問4：この路線のバスの利用頻度はどの程度ですか

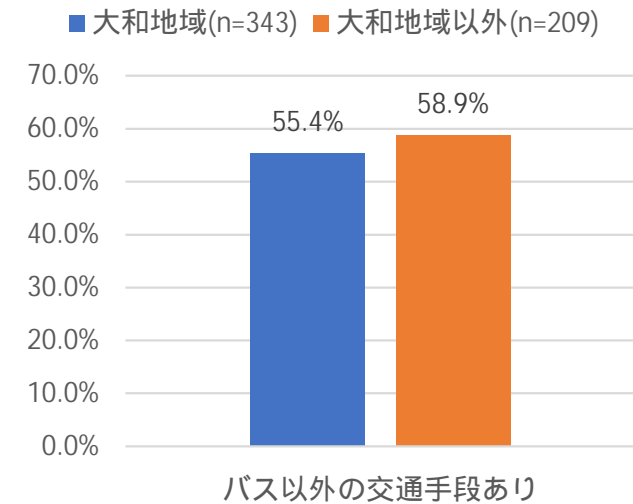
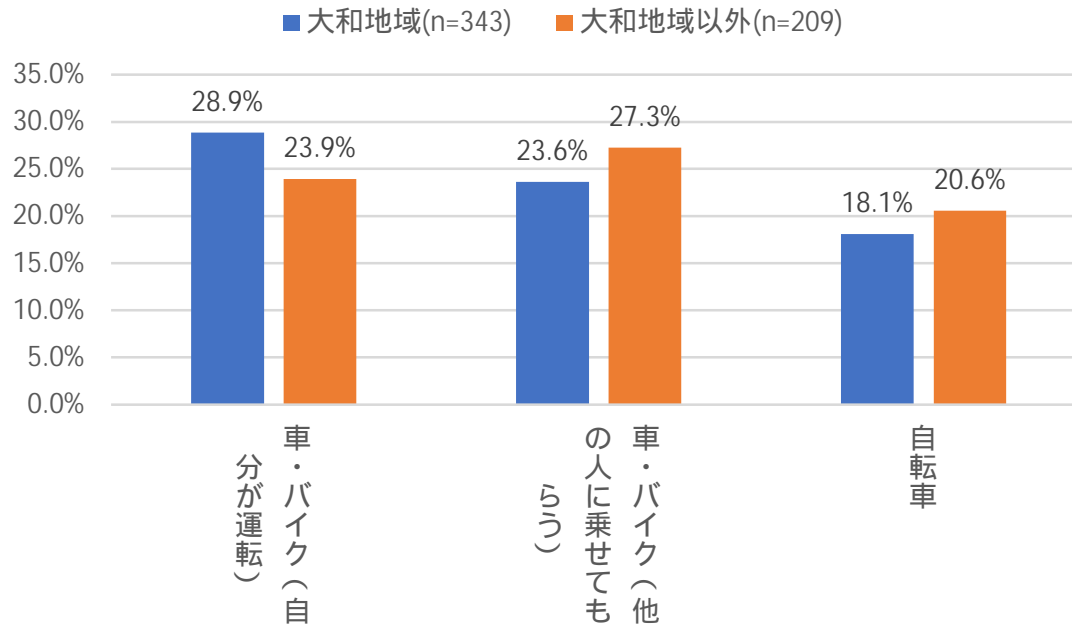


問5：今回どのような形で運賃を支払われましたか



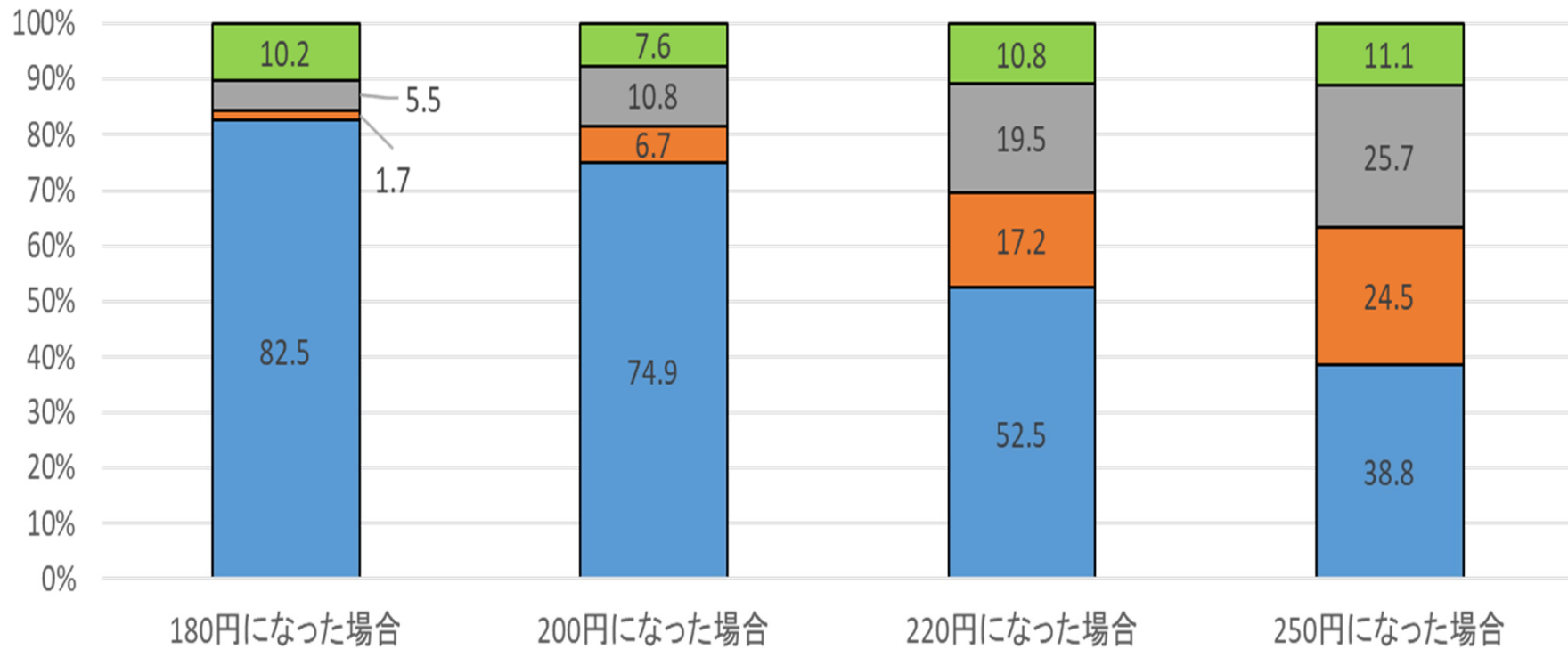
調査結果

問6：バス以外に使える外出手段は何ですか



調査結果

問 8 : 現在大和地域内のバスの初乗り運賃が160円となっています。運賃が以下の金額になった場合、バスを利用すると思いますか。



■ 利用すると思う ■ 利用しなくなると思う ■ 分からない ■ 不明・無回答

構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

(n=343)